

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行

見る / 学ぶ / 訪ねる /

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp
[HPアドレス]
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2019.8
第39号



Events



国指定史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡整備完了記念シンポジウム

史跡を使いたおせ!

国指定史跡武蔵国分寺跡の僧寺^{がらん}伽藍中枢地区が、平成23～30年度の整備工事を経て市立歴史公園として開園したことを記念し、シンポジウムを開催します。

今回のシンポジウムでは4名のパネリストを迎えて「歴史にふれあう」、「歴史を実感する」、「歴史を学ぶ」、「公園を楽しく活用する」、「公園で楽しむ」、「公園を使いこなす」をキーワードに、まちづくり、観光、ランドスケープデザイン、地域活動等、様々な立場から史跡活用の考え方・アイデアを出していただき、今後の歴史公園の使い方とそのあり方を議論します。



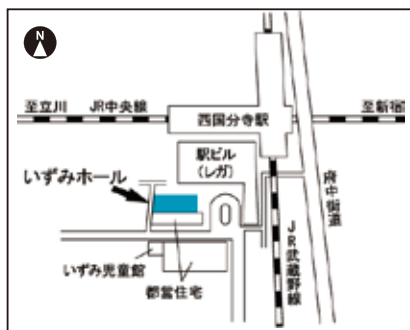
整備された僧寺金堂跡(南東から)



僧寺講堂跡から金堂跡を望む

開催日時・会場案内

【日時】 令和元年9月21日(土)
13:00～16:50(開場12:30～)
【会場】 いずみホール Aホール
【問合せ先】 ふるさと文化財課 042-300-0073



JR中央線西国分寺駅南口から徒歩2分
駐車場はございません。
最寄りの交通機関をご利用ください。

シンポジウムプログラム

- 13:00～開会挨拶 国分寺市長 井澤邦夫
13:20～基調報告「武蔵国分寺跡の概要」
基調報告①「史跡武蔵国分寺跡整備の現状」市職員
基調報告②「武蔵国分寺跡と関連文化財群」市職員
14:00～パネルディスカッション 第1部 ー主題解説ー
15:40～パネルディスカッション 第2部 ー「史跡を使いたおせ!」ー
司会・進行 野澤 康
パネリスト 石川 初、川原 晋、鈴木美央、高浜洋平
16:45～閉会挨拶 国分寺市教育委員会教育長 古屋真宏

「史跡をつかいたおせ！」パネリスト紹介

主旨説明 野澤 康（都市計画・まちづくり）



工学院大学 建築学部まちづくり学科教授。博士（工学）。技術士（建設部門）「東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了。」東京大学工学部都市工学科助手、工学院大学助教授等を経て、2011年から現職。国分寺市では、史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会委員を長く務めている。

主題解説① 石川 初（ランドスケープデザイン・造園学）



慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科/環境情報学部教授
著書に「ランドスケール・ブック 地上へのまなざし」(LIXIL 出版、2012年)など。また「今和次郎『日本の民家』再訪」(平凡社、2012年、共著)にて、日本建築学会著作賞・日本生活学会今和次郎賞受賞。

主題解説② 川原 晋（観光まちづくり）



首都大学東京 都市環境学部観光科学科教授
地域の環境や生活の改善運動である「まちづくり」と、地域資源を活用して地域の経済活動や生き甲斐を生む手段としての「観光」を一緒に考える「観光まちづくり」に取り組む。NPO 日本都市計画家協会楠本洋二賞・優秀賞受賞。

主題解説③ 鈴木 美央（パブリックスペースの活用）



O+Architecture（オープラスアーキテクチャー合同会社）代表
建築意匠設計から行政・企業のコンサル、公共空間の利活用まで、建築に関わる業務を多岐に行う。著書「マーケットでまちを変える ～人が集まる公共空間のつくり方～」(学芸出版社)は第九回不動産協会賞受賞。

主題解説④ 高浜 洋平（地域活性化活動を実践する市民）



(株)竹中工務店まちづくり戦略室所属
2009年より史跡の駅おたカフェの運営に携わり、翌年から数年間「水の学校」を運営し、水にまつわる様々な連続講座を開催。2011年から地域のお祭り「ぶんぶんウォーク」を立ち上げ、事務局長を務める。国分寺市湧水等審議会委員。

シンポジウム参加の申込み案内

参加費：無料 申込み：事前申込み（先着 250名）

申込方法：ふるさと文化財課へ電話またはEメールで。

Eメールは、件名を「史跡をつかいたおせ！」とし、名前（ふりがな）、住所（市町村名まで）、電話番号を明記の上、送信をお願いいたします。

申込期間：7月16日（火）から受付開始。定員に達し次第メ切。

問い合わせ先：国分寺市教育委員会ふるさと文化財課（〒185-0023 国分寺市西元町 1-13-10）

TEL：042-300-0073 ※土・日・祝は042-323-4103（武蔵国分寺跡資料館）

Eメール：bunkazai@city.kokubunji.tokyo.jp

開館 10 周年記念連載企画 武蔵国分寺跡資料館のあゆみ

武蔵国分寺跡資料館は今年で開館 10 周年を迎えます。武蔵国分寺跡資料館だよりでは開館 10 周年を記念して、開館から今までの資料館の歩みを 3 回にわたって紹介します。

第一回 開館から平成25年度までの歩み～史跡の中の博物館～

武蔵国分寺跡資料館は「見る」・「学ぶ」・「訪ねる」をコンセプトに平成 21 年 10 月 18 日に開館しました。開館に際し、それまで国分寺境内に存在した文化財保存館が閉館される事になり、保存館では平成 21 年 10 月 18 日から 11 月 8 日にかけて「さよなら文化財保存館展」が開催されました。朱印状や瓦などの保存館収蔵資料は国分寺市に寄託され、現在は資料館で収蔵しその一部を展示しています。

資料館では開館記念特別展示として平成 17 年に財団法人交通研究会より寄託された住田正一古瓦コレクションを取り扱った「住田古瓦コレクションの世界」を開館当日から約半年間にわたって開催しました。平成 22 年には東山道武蔵路跡が武蔵国分寺跡への附として国史跡に追加指定され、更に平成 23 年度から僧寺伽藍中樞部周辺地区の整備工事が始まりました。資料館でも平成 22 年に東山道武蔵路跡の調査成果を紹介した「古代道路を掘る」を開催するなど、史跡と連動した展示を展開しました。



保存館内部（2003 年撮影）



「住田古瓦コレクションの世界」開催風景

一方で、国分寺市内に所蔵されている資料を広く活用した展示も開催しています。平成 23 年に江戸時代の文献資料から武蔵国分寺跡を紹介した「武蔵国分寺跡と江戸文化人の出会い」を、同 25 年には再開発前の国分寺駅周辺の街並みを題材とした「50 年前の商店を歩く」を開催しました。また、平成 24 年の夏季期間には浜野栄次氏昆虫標本コレクションと古い町並みの写真を展示した「夏休みは資料館へ行こう」を開催するなど季節に対応した企画展も開催しました。入園者も開館以来着実に増加し、平成 24 年 11 月 10 日には入園者が 5 万人を突破しました。さらに、平成 25 年度からは 1 年間に史跡に関する企画展と市の歴史に関する企画展を開催し、より充実した博物館活動を行うようになりました。

開催期間	特別展・企画展・イベント名
平成 21 年（2009 年）10 月 18 日 ～ 11 月 8 日	さよなら文化財保存館展
平成 21 年（2009 年）10 月 18 日 ～平成 22 年（2010 年）6 月 27 日	住田古瓦コレクションの世界
平成 22 年（2010 年）8 月 5 日	東山道武蔵路跡が附として 国指定史跡武蔵国分寺跡に追加指定される
平成 22 年（2010 年）10 月 30 日 ～平成 23 年（2011 年）1 月 30 日 平成 23 年（2011 年）	古代道路を掘る ～東山道武蔵路の調査成果と保存活用～ 僧寺伽藍中樞部周辺地区の整備工事開始
平成 23 年（2011 年）10 月 22 日 ～平成 24 年（2012 年）1 月 29 日	武蔵国分寺跡と江戸文化人の出会い
平成 24 年（2012 年）7 月 21 日～ 8 月 31 日	夏休みは資料館へ行こう - 国分寺の思い出さがし -
平成 24 年（2012 年）11 月 10 日	入園者 5 万人突破記念セレモニー
平成 24 年（2012 年）10 月 20 日 ～ 12 月 2 日	こくぶんじ写真コンクール

平成 21 年～ 24 年度の特別展・企画展・イベント一覧



平成 24 年度開催「夏休みは資料館へ行こう」ポスター

「おたかの道湧水園」内 池周辺整備のお知らせ

おたかの道湧水園内には、国分寺崖線からの湧水が流れ込んでできた池があります。現在、開園 10 周年の一般公開に向けて、池及び周辺の修繕作業を行っています。

作業期間中は、来園者のみなさまに、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

一般公開は、おたかの道湧水園・武蔵国分寺跡資料館の開園・開館 10 周年記念日である令和元年 10 月 18 日を予定しています。

- 【内 容】 池清掃・護岸修繕、園路整備等
- 【履行期間】 令和元年 6 月 9 日から
令和元年 10 月 11 日まで



「夏休み子どもクイズスタンプラリー」開催のお知らせ

ふるさと文化財課・公民館課・図書館課の教育委員会 3 課は、連携して「夏休み子どもクイズスタンプラリー」を開催します。武蔵国分寺跡資料館をはじめ、会場ごとにクイズを用意しています。クイズに挑戦して 4 つ以上スタンプを集めた小学生にはプレゼントを進呈していますので、ふるってご参加ください。

- 【対象】 小学生
- 【会場】 本多公民館、本多図書館、恋ヶ窪公民館、恋ヶ窪図書館、並木公民館、並木図書館、もとまち公民館、もとまち図書館、光公民館、光図書館、武蔵国分寺跡資料館
- 【開催期間】 令和元年 7 月 20 日（土）～8 月 25 日（日）

来館者数

2009 年 10 月 18 日～2019 年 6 月末日

来館者数累計 134,883 名

【5 月～6 月の学校見学】 多くのご来館ありがとうございました

	学校数	人数
小学生	7	783
中学生	2	423
高校生	1	31
大学生	2	40

月	来館者数	開館日数
5	2,222	27
6	1,365	26
計	3,587	53

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



- 交通のご案内 ※駐車場はありません
- 電車 [電車] ○JR国分寺駅下車／徒歩約 20 分 ○JR国分寺駅下車／徒歩約 15 分
- バス [バス] ○国分寺市循環バス『ぶんバス』万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車／徒歩約 8 分
○国分寺市循環バス『ぶんバス』日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約 8 分
○国分寺駅南口より『京王バス』系統番号く寺83・く寺85 乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約 8 分

- 開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 45 分まで）
- 休館日 毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）
年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日まで）
※展示替えなどで臨時休館することがあります。
- 入園料 資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）
一般……………100 円（年間パスポート 1,000 円）
中学生以下……………無料
【入園料の減免規則があります】
(1) 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前（5 日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
(2) 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
(3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前（5 日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

見る 学ぶ 訪ねる
武蔵国分寺跡資料館
Musashi Kokubunji Temple Remains Museum



ホームページQRコード